

平成 25 年度第 2 回甲斐市国民健康保険運営協議会概要

1 日 時

平成 26 年 2 月 6 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 15 分

2 場 所

甲斐市役所 本館 3 階 大会議室

3 出席者

(1) 運営協議会委員

18 名のうち 14 名出席

(2) 事務局

市民部長、収納課長、保険課長、国民健康保険係長

4 案 件

(1) 平成 26 年度国民健康保険特別会計当社予算（概要）について

① 説明の要旨

- ・平成 26 年度当初予算についての歳入歳出総額は、それぞれ 79 億 6,767 万 3 千円とし、前年度当初予算に対して 2 億 7,496 万 1 千円、約 3.6%増となる。
- ・歳入の国民健康保険税は、税率を据え置きで計算している。現年課税分の収納率は 89.8%、滞納繰越分は 21.0%を見込んでいる。
- ・歳入の構成は、前期高齢者交付金が一番多くなり全体の 25.8%、国民健康保険税が 25.2%、国庫支出金が 20.9%。歳出の構成は、保険給付費が全体の 66.8%となり、前年度当初予算に対し 1 億 9,148 万円、約 3.8%の増となっている。
- ・一般被保険者の医療費は 25 年度当初に比べ 3.85%の増。退職被保険者の医療費は 3.31%の増となり、後期高齢者支援金は 7.23%の増を見込んでいる
- ・財政調整基金に平成 24 年度からの繰越金のうち 2 億円と利子分の積立てを予定しており、25 年度末残高は 4 億 5,270 万 7 千円となる予定。
- ・平成 25 年度の決算見込みにおいて、24 年度に比べ 1 世帯あたりの医療費は 3.9%、1 人あたりの医療費は 5.4%の伸びとなっている。

② 主な質疑

- ・一人当たりの医療費が昨年度に比べ 5.4%伸びていると説明があったが、高度医療によるものか、疾病率によるものか理由は。
⇒一般的には、加入者の高齢化と医療の高度化によるものといわれているが、他にも、生活習慣病といわれている糖尿病、高血圧、心臓病等の循環器系

の病気の患者が5年前は全体の3割程度であったが、この5年間で4割程度に増えている。これは高齢化によるものもあるが、生活習慣病患者の増加も医療費の増加の理由になっている。

- ・国民健康保険税の滞納者の差押えが24年度中は97件あったと聞いているが、職員が苦勞していることは。

⇒平成22年度から国保税の徴収が収納課へ移管され、現在も1日10件程度の納税相談を毎日受けている。

国保税は、所得があってもなくても相互扶助という立場で大なり小なり課税されるため、所得のない方からどうやってお金を徴収していくかが課題である。

そのなかで、消費者金融への過払い金を請求して戻ってきたものを未納税に充てることも行っている。収入のない国保の加入者は、消費者金融に頼っている例も多く、平成24年度からは弁護士ともタイアップし、現在までに1,600万円の税金を過払い金から徴収した。そのうち約1,000万円近くが国保税となっている。

収納課としては、「生活再建型滞納整理」ということで、納税相談をするなかで、消費者金融へ過払い金が請求できる場合は請求し、収入のない滞納者の財布以外から徴収できないかも考えてこの2年間やってきている。

(2) その他

- ・特になし